

SAMPLE  
重要

がん検診の結果、精密検査が必要と判定されたあなたへ

あなたは大腸がんの疑いがあると判定されました

便潜血検査において、がんの可能性がある異常が認められました

男性のがんのうち

**2番目に多い死因**が大腸がんです

便に血がまじったのは痔のせいだと思い込まないで！

自覚症状がなくても、必ず精密検査を受けてください。

部位別がん死亡数 男性(2024年)	
第1位	肺がん
第2位	<b>大腸がん</b>
第3位	胃がん
第4位	膵臓がん
第5位	肝臓がん

資料：令和6年人口動態調査



**早期発見**すれば9割以上が治ります

※1：ここでいう「早期」とは、がんの進行度をⅠ～Ⅳ期に区分した病期分類(TNM分類)におけるⅠ期を意味します(Ⅳ期に近いほどがんが進行している状態)。

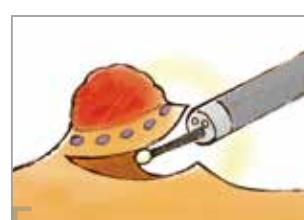
※2：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)は91.1%。

※3：ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。

**検査とがん治療が同時にできます**

早期のがんやポリープで見つかった場合、それらを内視鏡で取ることもできます。

異常が認められた方のうち**3人に1人**が、がんやポリープが見つかっています。



**速やかに、精密検査を受けてください**

精密検査を受ける医療機関については、がん検診を受けた医療機関や市町村にお問い合わせください。

お問合せ先